



## 全国学力・学習状況調査と大阪府すくすくテストの結果について

### 【全国学力・学習状況調査】

4月17日に実施され、7月に結果が公表されました。本校の結果内容と課題について以下にお知らせいたします。このテストの結果に一喜一憂するのではなく、自分の課題をはっきりさせ、残りの小学校生活でどのような力をつけて、中学に向けてがんばっていくべきかを考えてほしいと思います。ただし、この調査結果は、学力や学習状況の一部であり、児童の学習状況、教育活動のすべてを表すものではありません。それを踏まえた上で、学校と家庭・地域が課題を共有し、連携を深めて取り組んでいくことを目的として、お知らせいたします。

個人差はありますが、全体的に国語・算数・理科ともに基礎・基本はできており、どの教科も大阪府・全国の平均正答率と同水準です。

◎国語・・・知識や技能については、よくできています

△国語・・・ページをまたいだ資料を見比べて読むことが苦手です。

◎算数・・・複雑な図形を基本の図形に分割して面積を求める問題がよくできています。

△算数・・・1あたりの量(1目盛りで何g、1プッシュあたりOmLなど)が苦手です。

◎理科・・・レタスやハチマの発芽についてや、水の温度と体積の関係についてや、水のしみこみ方と土の粒の大きさについての内容は、よくできています。

△理科・・・電磁石や水の蒸発、ハチマの受粉についての内容が苦手です。

※このほか、児童質問の結果では、以下の4点が気になりました。

- ①将来の夢や目標がまだ持っていない人が4割いる。
- ②自分と違う意見について考えることが苦手な人が4割いる。
- ③自分で学び方を考えたり、工夫したりするのが苦手な人が5割以上いる。
- ④理科の学習以外、他の学習が実生活に役立つと実感できていない児童が多い。



## 【大阪府小学生すくすくテスト】

全国学力・学習状況調査と同日の、4月17日に5年生・6年生を対象に実施されました。本校の結果分析と課題について以下にお知らせいたします。

大阪府が実施したこの「すくすくテスト」とは、子どもたち一人ひとりが学びの基盤となる言語能力や、読解力、情報活用能力等を向上させ、これからの予測困難な社会を生き抜く力を着実につけることを目標に実施されました。自分の学びをふりかえり、自らの強みや弱みなどを知って、新たな目標を立て、強みを伸ばすことや課題を克服することなどに取り組んでほしいと思います。

### 【6年生】

#### ○6年生 わくわく問題(教科横断型問題)について

大阪府の平均正答率とほぼ同水準ですが、以下の2点に課題がありました。

- ①文章から必要な情報を読み取ること
- ②資料を関連付けて、それをもとに考え、まとめ、伝えること

全国学力学習状況調査の結果とも関連しますが、たくさんの文章や図や表などを見比べて、必要な情報を読み取ることが苦手なようです

### 【5年生】

特に課題となる点として、教科別に挙げると・・・

#### ○5年生 国語について

- ①3つの数の大小関係を問う問題
- ②主語と述語を問う問題
- ③接続詞を正しく使う問題

#### ○5年生 算数について

- ①九九で求められる図形の文章問題
- ②図形を組み合わせる問題
- ③折れ線グラフを見て、必要な情報を読み取ること

#### ○5年生 理科について

電池や空気の温度と体積、空気の温まり方、熱された金属の体積、などの内容が苦手です。

#### ○5年生 わくわく問題(教科横断型問題)について

- ①文章から必要な情報を読み取ること
- ②資料を関連付けて、それをもとに考え、まとめ、伝えること
- ③問題文を読んで、複数の条件に合う解答を見つけること

#### ★苦手な分野を伸ばすために

- ・大人が転ばぬ先の杖を出さず、失敗しても子どもたちを見守ることで、子ども自身が課題から自分で解決方法を模索し、解決していく経験を積ませること
- ・単に文章を読むのではなく、複数の文章や資料と比較したり、わかりやすく要約したり、自分で工夫する経験を積むこと
- ・日頃から実生活に関わる数学的・科学的な話題を家庭や学校で出すこと

これらの経験を学校や家庭、地域で子どもたちに積ませていき、苦手が得意に変わっていくといいですね